

長崎県全世帯広報誌 「つたえる県 ながさき」

平成31年3月号

特定複合観光施設(IR)の導入を進めています!

県では、本県の魅力発信や交流人口拡大、新たな雇用創出等を目指し、県内へのIR※1導入に向けた準備を進めています。今回は、IRの導入によって期待される交流人口の拡大効果について紹介します。

※1 国際会議場や展示場、エンターテインメント施設、ホテル、カジノなどが一体となった観光施設

国内外からの来訪者へ県内外の周遊を促すため、IRには先端技術を活用して各地の観光の魅力を発信する「ショーケース機能」や旅行の提案やチケットの手配などを行う「ゲートウェイ機能」を多言語対応にて備えます。

ショーケース機能



臨場感にあふれた映像を体感できるVR※2などを活用し、県内各地の魅力を発信することで、旅のきっかけづくりにつなげます

バーチャルリアリティ
※2 Virtual Realityの略で、仮想現実と訳される。コンピューターの中に作られた仮想的な世界を、現実のように体験させる技術

ゲートウェイ機能



旅行計画の提案や交通手段、観光スポットの案内、ホテルや各種チケットの予約・決済などが多言語対応可能な一つの窓口でできるようにします

旅行者の県内周遊へ!



IRという玄関口を本県に整備することで、新たな人の流れが生まれ、IR区域だけでなく、本県全体の交流人口の拡大につながることが期待されます。

問合せ

県のIR推進室 ☎ 095-895-2037

長崎県IR推進室

検索

※県政出前講座などでIRに関する説明を行っていますので、希望される方は、お気軽にお問い合わせください